

みんなの図書館

町立図書館 ☎0234-43-3039
 分館(狩川公民館内) ☎0234-56-3308



一般向 新刊案内

分館所蔵の本



『スキマワラシ』 (恩田 陸)
 古道具屋を営む兄・太郎と、物に秘められた“記憶”が見える弟・散多。ある日、ふたりはビルの解体現場に現れる少女の都市伝説を耳にするが…。ファンタジックミステリー。(集英社)

- ・『テロリストの家』(中山 七里)
- ・『ハリネズミは月を見上げる』(あさの あつこ)
- ・『僕の神さま』(芦沢 央)
- ・『タクジョー!』(小野寺 史宜)
- ・『世界一美しい透明スイーツレシピ』(tomei 透明愛好家)
- ◎『首里の馬』(高山 羽根子)

News 図書館からのお知らせ

★つちだよしはる絵本原画展
 『みんなの図書館Part 5』を開催中! 9/20日まで
 ★蔵書点検・整理に伴う休館について
 本館9/28月～10/5月 分館9/28月～10/4日
 返却の際は、返却ポストをご利用ください。

児童向 新刊案内

分館所蔵の本



『ねぐせのしくみ』 (ヨシタケ シンスケ)
 寝ているあいだに、何が起こってる? もしかして「あの一とたち」におなかを丸だしにされたり、いろんなねぐせを試されたりしているのかも…。「あの一とたち」のしわざを想像した、世界が愉快地みえてくる絵本。(ブロンズ新社)

- ・『あかいしろくま』(柴田 ケイコ)
- ・『つかめつかめ』(中脇 初枝/文, あずみ虫/絵)
- ◎『カブトムシのガブリエル、もりのヒーロー』(香川 照之/作, ロマン・トマ/絵)

今月のおすすめ本

文学講座のテーマは庄内の怪談。
 講師が綴る「怖～いお話」はいかが?



『黒木魔奇録 狐憑き』 (黒木 あるじ)
 <黒木魔奇録>の第2弾! コロナ禍に遭った恐怖体験、テレワーク中に起きた怪奇現象……日常に潜む実話怪談集。

- ・『怪談実話傑作選 磔』(黒木 あるじ)
- ・『怪談四十九夜 鬼気』(黒木 あるじ)

おとろぎねのいしば

とどろぎね

文・絵 樋渡 浩さん

家はイエのほかにカともケとも読むが、おらほのことばの中でも3通りに発音されていた。「エブシンしてる間、イヤネの稲倉かって(借りて)暮らしていたが、やっと終わったので今日はヤワダリしつたごだ(ところです)」

エブシンは家普請、イヤネは本家、ヤワダリは家渡りで引越しのことだから、傍点を付したエ、ネ、ヤは漢字にするとすべて家になる。

この中で一番多く使われたのはエで、人称の下に続く家は殆どの場合エと発音された。俺の家はオラエ、お前の家はオメエ、太郎の家はタロエになる。アネエは嫁の実家のことだった。

どんじよしめ(泥鰌捕り)に行く度、水を飲みにーと言うのは口実で、実は叔母が呉れるあらね(餅あらね)、かたちもち(かき餅)が目当てで立ち寄った廿六木ネは萱葺き屋根の大きい百姓ヤ(農家)だった。廿六木ネは廿六木集落にある親戚の家のことである。

子どもの頃は、近所同士は屋号で呼び合い、親戚間ではその

